



鹿児島ユナイテッドFC



鹿児島の醤油



ラーメン



まちなかの魚屋さん



中村 太悟さん

身近に出合える
美しい自然



錦江湾公園

家族と訪れた公園で、ふと目に入った花畑と空のコントラストに思わずシャッターを切りました。鹿児島市には、美しい自然があちこちにあり、それを身近に楽しめるのが好きです。

鹿児島にしかない
伝統「六月灯」



六月灯



道宮 義博さん

色鮮やかな灯籠が連なり、にぎわいあふれる夏の風物詩「六月灯」。地域の人たちが長く支えてきた伝統を、次の世代の子どもたちにも楽しんでもらいたいです。

令和につなぐ
未来に残したい
鹿児島市の宝

あなたとわくわく



マグマシティ
鹿児島市

ずっと変わらないでほしい鹿児島市の好きなおところ。未来に残したい本市の「魅力」を市民の皆さんに聞きました。

郷土の偉人にも
愛された美味

ちゃんぽんもち
両棒餅

東 勢津子さん

県外から訪れる知人に必ず紹介する郷土菓子。幕末の偉人も食べていた鹿児島の名物は、味や見た目、名前の由来の話で自然と場を盛り上げてくれます。

ライトアップされた
夜の街並み



写指 絵里子さん



中央公民館

普段見ている建築物などが、ライトアップにより歴史を感じる印象的な表情に変化します。柔らかく照らされた夜の街並みは、昼とは違う雰囲気です。思わず見入ってしまいます。



克灰袋



白熊



名山堀



焼酎ストリート

市民と
ともに

鹿児島市長
森 博 幸



兄弟都市鶴岡市と50年

庄内柿によせて

南洲神社の参道の石段を上って鳥居をくぐると、左手に大きな庄内柿の木が見えます。昭和44年11月7日、山形県鶴岡市から、兄弟都市の盟約締結の記念に贈られたものです。

庄内柿は、鶴岡市のある庄内地方の特産品とされ、百年を超える栽培の歴史があるといわれます。鶴岡の皆さんの思いが込められているこの木が、西郷南洲翁ゆかりの場所に根づき、毎年たくさんの実をつけているということに感慨を覚えます。

両市の交流もまた、同じく半世紀の間、多くの市民の皆さんによって育まれ、友好を深めてきました。今ではさまざまな分野にも及び、水族館や豊かな食など、互いに共通する魅力や文化を生かした連携が新たに生まれています。

市内の西郷公園には、両市の親交を静かに見守るように、南洲翁と庄内地方の復興に尽力した菅臥牛翁が対面する「徳の交わり」の銅像があります。令和の幕開けに盟約50周年という大きな節目を迎え、先人たちの敬意と感謝をあらためて深くしつつ、両市の絆をさらに固く結んでいきたいと願っています。